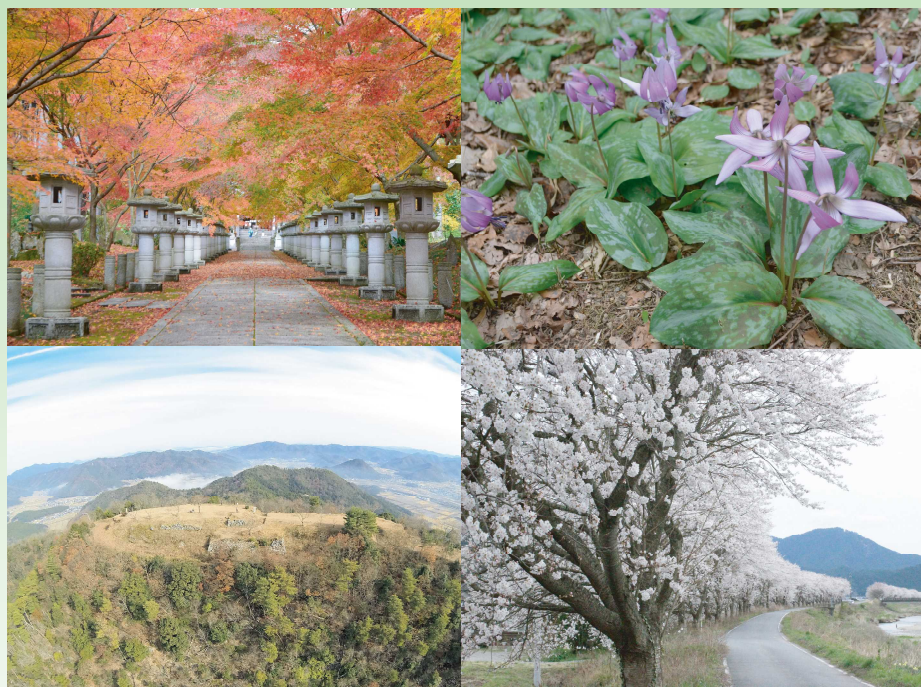


人と人、人と自然の創造的交流都市

くみんなであつなぐ丹（まごころ）の里く



第2次 丹波市総合計画



丹波市
平成27年3月

ごあいさつ

～第2次丹波市総合計画の策定にあたって～



合併から10年が経過し、平成27年度からの丹波市の新しいまちづくり指針となる「第2次丹波市総合計画」がスタートいたします。

このたびの計画づくりでは、各専門分野及び公共的団体から17名、識見者5名、公募委員9名の31名からなる丹波市総合計画審議会委員の皆様が、部会を含めると30回を超える会議を重ね、知恵を出し合いながら大変熱心に基本構想、基本計画のご審議をいただきました。

委員の皆様は、計画の策定に深く関わっていただいたことで、従来の行政主導による計画ではなく、市民の目線から作り上げられた計画となっております。

また、今後各分野の施策展開を進める上で、市民、事業者、行政の役割分担をお示しし、参画と協働によるまちづくりを掲げたことも、特徴の一つとなっております。

さて、国では「地方創生」が進められる中、本市を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化の急速な進行、それに伴う地域経済の低迷や地域活力の低下など大変厳しい状況にあります。また、8.16豪雨災害からの1日も早い復旧・復興が急務の課題となっており、今後、防災面での安全や暮らしの安心に対する市民の願いは一層高まってまいります。さらに、市行財政においては、地方分権が進む一方、平成27年度から5年間かけて地方交付税が段階的に縮減される中、持続可能で安定的な財政運営へと移行していくことが必要となっております。

このような状況下、本計画の将来像とまちづくり目標の実現に向け、全力をあげて一つひとつの施策に着実に取り組み、まちの活力の維持・向上を図っていく所存でございますので、市民の皆様の格段のご理解と積極的なご協力をお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定に際しまして、ご尽力を賜りました市総合計画審議会委員の皆様並びに市議会議員の皆様、さらにはアンケート調査やパブリックコメントを通してご協力をいただきました多くの皆様に、心からお礼申し上げます。

平成27年3月

丹波市長 **辻 重五郎**

目 次

序 論.....	1
第1章 計画策定の趣旨.....	2
第1節 計画策定の背景と目的	2
第2節 計画の根拠と役割	3
第3節 計画の構成と計画期間	4
第2章 丹波市の現状と動向.....	6
第1節 社会経済情勢の動向	6
第2節 市の現状.....	9
第3節 市民等の意向	21
第3章 第1次丹波市総合計画の検証と今後の課題.....	25
第1部 基 本 構 想	29
第1章 丹波市の将来像.....	30
第1節 将来像（実現すべきまちの姿）	30
第2節 推計人口.....	33
第3節 都市構造.....	34
第2章 まちづくりの視点	35
視点1 育て合い支え合える人の輪づくり	35
視点2 人・自然・産業・暮らしが循環する“源流のまち”づくり	36
視点3 来訪者を“丹（まごころ）”で迎える交流・定住の魅力づくり	37
第3章 基本姿勢	38
基本姿勢1 市民が主役の豊かな地域力 【参画と協働】	38
基本姿勢2 計画的かつ効果的な行政経営 【行財政運営】	39
第2部 基 本 計 画	43
第1章 基本計画の体系.....	44
第2章 基本計画の見方.....	45
第3章 まちづくりの目標と施策目標	47
1 みんなで支え、育む生涯健康のまち.....	47
2 誰もが住みたい定住のまち	67
3 あいさつでつなぐ安心して暮らせるまち	87
4 美しい自然と環境を大切にする源流のまち	95
5 ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち	101
6 丹波力を活かした創意ある元気なまち	123
第4章 まちづくりの進め方.....	132
まちづくりの進め方1 市民が主役の豊かな地域力の向上	132
まちづくりの進め方2 計画的かつ効果的な行政経営の実施.....	134
参 考 資 料.....	137